

平成 28 年 2 月 1 日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会

専務理事

前 野 陽 一

今年は、暖冬と言われてきましたが、1 月に入ってかなり寒い日も多く、東京ではかなりの積雪もありました。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

先月のこのレターでは、「今年は平穏な 1 年でありますように」と祈ったのですが、国内では、原油価格の下落や中国経済の不振などを背景とした株価の急落、海外では、ジャカルタの Jakarta Japan Club の入っている建物での爆破テロ（当協会は、Jakarta Japan Club で昨年 11 月に「安全対策セミナー」を実施しました。）に加え、サウジアラビアとイランの国交断絶など、新年早々様々な事件が起こっています。

当協会としては、会員各社の関心が高いと思われる、安全対策を含む海外情勢やエネルギー環境問題、景気情勢などに関して講演会を開催してまいりましたが、今年も新たな情勢に合わせて、講演会の開催など情報提供に努めてまいりたいと思っております。

ちなみに、サウジアラビアとイランの問題については、1 月 19 日（火）に行われた（公財）中東調査会研究員の村上拓哉様の講演を聴きに行っていました。「両国の対立の原因は、宗派対立というより、中東地域における覇権争いの要素が強い。両国とも軍事衝突まではエスカレートさせないつもりでいるが、国民の間の対立感情は高まってきており、予断を許さない。」といったところが、結論であったと思います。（一財）中東協力センターの機関誌（1 月号）での東京大学准教授の池内恵様の論考も同趣旨である、と感じました。

以下、1 月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 賀詞交歓会の開催

1月5日（火）に毎年恒例の賀詞交歓会を、溜池山王のANA インターコンチネンタルホテル東京で開催いたしました。

今年も900名を越える皆様にお越しいただき、盛況に開催できましたこととお礼申し上げます。ご来賓も、ご挨拶をお願いした経済産業省の糟谷製造産業局長に加え、上田経済産業審議官、西脇国土交通審議官、小林地球環境審議官という3省の次官級の方々にもお越しいただきました。

関係省庁や政府系機関の皆様（数多くお越しいただき、正直、総計何名か不明ですが。）からは、「ENAAの賀詞交歓会では、様々な業種の経営幹部と話ができて、きわめて効率的」である、とのご評価を頂いております。

気の早い話ですが、来年の賀詞交歓会（1月5日（木））もよろしくお願い申し上げます。

(http://www.ena.or.jp/event/periodical/new_year_reception/page?id=21350)

2 講演会等の開催

1月は、講演会を3回実施し、説明会を2回実施いたしました。

2月は、東京で5回の講演会を実施するほか、福岡市で第3回目となるエンジョイセミナーを実施する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

3 「やまがた企業立地セミナー in TOKYO」への参加

当協会の協力会員である山形県庁の主催する「やまがた企業立地セミナー in TOKYO」（1月14日（木））に参加してまいりました。

このセミナーは、山形県の魅力をPRするものですが、その中で、鶴岡市に所在する慶應義塾大学先端生命科学研究所及びその研究成果を活用したベンチャー企業の講演が印象的でした。この研究所は、2001年に設立された比較的新しい研究所ですが、血液、唾液など人間の分泌物を分析することにより、がんやうつ病などの早期診断や治療薬を開発するとともに、蜘蛛の糸を分析することにより、人工の蜘蛛の糸をつくるなど、幅広い活動を行っています。大学発ベンチャー企業も数多く成功させるなど、その活躍は目覚ましいものがあります。

会員企業には、新規事業開拓を行っておられる方も多いことから、富田勝所長に特にお願いし、5月23日（月）に当協会での講演をしていただくこととなりました。

4 資源エネルギー庁 藤井資源・燃料部長へ海洋関連事業のご説明

1月15日（金）に、藤井部長及びそのスタッフの皆様に、当協会の海洋関係の事業に関してご説明をいたしました。藤井部長は、特に海洋資源開発に係る技術に関する国内外の企業のシェアなどを分析した「海洋技術マップ」に関心をお持ちでした。

過日、製造産業局の国際プラント・インフラシステム・水ビジネス推進室にもご説明をしており、将来の受託事業の獲得につながればいいな、と「取らぬ狸の皮算用」をしております。

5 その他

東京大学工学部に所用があり、行ってまいりました。何気なく英文の学部・学科名を見たところ、工学部は「Faculty of Engineering」であり、多くの学科も「Engineering」がついていました。例えば、社会基盤学科（Department of Civil Engineering）、マテリアル工学科（Department of Materials Engineering）、電子情報工学科（Department of Information and Communication Engineering）などです。

当協会では、エンジニアリング関連産業の認知度向上を目指しておりますが、英語名では、「Engineering」はメジャーだなあ、と思った次第です。

また、帰りに売店で「東大グッズ」を買いました。植物と動物の両方の性格を持ったユーグレナが入っている「ユーグレナクッキー」や筋肉の増強に必要な各種アミノ酸の入っている「体力式アミノ酸サプリメント」などです。

これによって、還暦を過ぎた私の体力の維持・強化を図ってまいりたい、と思っております。

2月の講演会等の実施について

平成28年1月22日
エンジニアリング協会
専務理事 前野陽一

来月は、東京で5件の講演会を行うほか、福岡でエンジョイセミナーを実施する予定です。正式のご案内は、別途お送りいたします。

1 第3回 エンジョイセミナー in 福岡

(2月3日(水) 13時25分より 於：電気ビル共創館)

このご案内に添付しているとおり、福岡で三回目となるエンジョイセミナーを実施します。

今回は、原油価格の下落、COP21における国際合意などを踏まえ、エネルギー環境問題の泰斗である(一財)日本エネルギー経済研究所の豊田正和理事長にご講演いただくほか、今や世界経済のリスクとなりつつある中国経済の専門家であるJETRO アジア経済研究所の大西康雄上席主任調査研究員にお話を頂きます。

本セミナーは、非会員の方でも無料でご参加いただけますので、是非関係会社やお取引先の皆様にお勧めいただければ幸いです。

2 ガスシステム改革の概要と今後の展望

(2月10日(水) 資源エネルギー庁 ガス市場整備課長 藤本 武士 様)

電力事業と並んで、ガス事業の制度改革は、新たなビジネスチャンスをもたらすものとして注目されています。

今回の講演では、昨年 6 月に成立した法律改正を踏まえ、今後進んでいくガスシステム改革の内容、スケジュールなどについて、責任者である藤本課長から直接お伺いします。

エネルギー部門の皆様や、新規事業ご担当の皆様のお越しをお待ちしております。

3 最近の立地動向について（仮題）

（2 月 16 日（火） （一財）日本立地センター 専務理事 徳増 秀博 様）

（一財）日本立地センターは、昭和 37 年に設立されて以来、産業立地と地域振興に関わる総合的調査研究機関として様々な活動をしてきた組織です。

今回の講師の徳増様は、長年当該センターで活躍してこられ、企業の立地動向について豊富な知識をお持ちの方です。

円安や中国等の人件費の高騰などにより、日本企業の「日本帰り」が言われている中、最近の立地動向についてお聞きいただくことは、今後の事業運営を考える上で、役に立つものと思っております。

企画部門や工場等の立地に関係する皆様のご参加をお願いします。

4 経済政策の効き目

（2 月 18 日（木） 元 経済産業事務次官 望月 晴文 様）

アベノミクスは、株価の回復など景気浮揚に対して一定のプラス効果を与えてきたと思われますが、昨今の原油価格下落や地政学的なリスクなどにより、先行きが不透明な部分も出てきております。

今回の講演では、経済産業省の事務次官を勤められた望月様から、アベノミクスなどの経済効果について、お話を頂きます。

経営幹部の皆様を含め、多くの方のお越しをお待ちしております。

5 Project Analysis (仮題)

(2月23日(火) Independent Project Analysis (IPA) 講師未定)

Independent Project Analysis (IPA)は、1987年に設立されたシンガポールを拠点として活動する調査研究機関であり、幅広いプロジェクト（特に、石油化学、鉱業、発電など）の投資計画について、その投資効率を詳細に分析しています。

そのベースとなるのは、IPAの持つ17万件にも及ぶ過去のプロジェクトに関する詳細なデータであり、IPAは、過去の成功事例、失敗事例をもとに、現在のプロジェクトの判断を下します。

今回の講演では、こうしたIPAの調査研究内容についてお話を頂きます。海外でプロジェクトを検討するに当たり、参考となるものと考えております。なお、講演は英語で行う予定ですが、念のため、同時通訳を用意する予定です。

オーナーサイド、コントラクターサイドを問わず、海外営業部門、経理部門などの皆様のお越しをお待ちしております。

6 中国経済の現状と今後 (仮題)

(2月25日(木) 経済産業省 通商政策局 企画調査室長 石川 靖 様)

中国経済は成長を続けておりますが、一部識者からは今や世界経済のリスクとなりかねない、と見られていることも事実です。

今回の講演では、中国経済の実態について、通商白書のご担当室長でもある石川様にお話しいただきます（片瀬通商政策局長からは、「経済産業省の中では、最も中国の状況に精通している」とのご推薦を頂いております。）。

中国に関連するビジネスを実施している皆様には、是非お越しいただくようお願い申し上げます。